

当面の進め方について（案）

第 4 世代移動通信システム作業班の当面の検討の進め方については、次のとおりとする。

【全体概要】

- ・被干渉・与干渉システムとして検討対象となる第 4 世代移動通信システム（IMT-Advanced）及び他の既存システムについて、各システムの概要・動向・将来展望や干渉検討に向けた前提条件・運用上考慮すべき事項等、今後の検討に必要と思われる各種情報について、当作業班における認識・理解を深めるために、初回から数回程度（1 回／月程度の開催）の作業班会合において、各システムの関係構成員等によるプレゼンテーションを実施する。

【具体的進め方】

- ・プレゼンテーションの担当順は、原則として、次表のとおりとする。

プレゼンテーションの担当順案

	作業班	プレゼン担当	備考
①	第 1 回	ドコモ、UQ	携帯電話事業者①（2 者）
②	第 2 回	EA、KDDI、SBM、 KDDI、スカパー - JSAT	携帯電話事業者②（3 者） 衛星事業者（2 者）
③	第 3 回	NHK、TFM、TBS、テレ朝 クアルコム、ノキアシーメンス	放送事業者（4 者） 携帯電話ベンダ①（2 者）
④	第 4 回	富士通、シャープ、パナソニック、 京セラ、NEC、日立	携帯電話ベンダ②（6 者）

なお、検討内容に応じて、必要とされる専門家等に適宜出席を要請することも可能とする。